

ADLによるテスト項目実施のスクリーニングに関する判定基準

【スクリーニング項目】

問	内 容	回答状況及び判定
1	休まないで、どれくらい歩けますか。 ①5～10分程度 ②20～40分程度 ③1時間以上	問1, 5及び6において①に回答した場合 →→ 6分間歩行、10m障害物歩行 及び 開眼片足立ち テストは実施不可能 その他のテスト項目の実施についても慎重な検討を要する。
5	正座の姿勢からどのようにして、立ち上がれますか。 ①できない ②手を床についてなら立ち上がれる ③手を使わずに立ち上がれる	
6	目を開けて片足で、何秒くらい立っていられますか。 ①できない ②10～20秒程度 ③30秒以上	
3	どれくらいの幅の溝だったら、とび越えられますか。 ①できない ②30cm程度 ③50cm程度	
4	階段をどのようにして昇りますか。 ①手すりや壁につかまらないと昇れない ②ゆっくりなら、手すりや壁につかまらずに昇れる ③サッサと楽に、手すりや壁につかまらずに昇れる	
10	布団の上げ下ろしができますか。 ①できない ②毛布や軽い布団ならできる ③重い布団でも楽にできる	
12	仰向けに寝た姿勢から、手を使わないで、上体だけを起こせますか。 ①できない ②1～2回程度 ③3～4回以上	問1, 5及び6において①以外に回答し、問3, 4のいずれかにおいて①に回答した場合 →→ 6分間歩行 及び 10m障害物歩行 テストの実施について慎重な検討を要する。 特に、 6分間歩行 テストの実施
2	休まないで、どれくらい走れますか。 ①走れない ②3～5分程度 ③10分以上	問2及び11において③と回答した場合 →→特別な障害がない限り全てのテスト項目について実施可能
11	どれくらいの重さの荷物なら、 10m 運べますか。 ①できない ②5kg程度 ③10kg程度	

【総合得点によるテスト実施のスクリーニング】 *全設問に回答（無回答なし）の場合に利用
各設問とも、①に回答の場合は1点、②は2点、③は3点として合計し、総合得点とする。

総合得点	回答状況	判定	判定に関する条件
1 2点以下	全ての設問において①に回答	×	6分間歩行、上体起こし、開眼片足立ち 及び 10m障害物歩行 テストは実施不可能
2 4点未満	設問によっては回答②あるいは、回答③も含まれる。	△	6分間歩行、上体起こし 及び 10m障害物歩行 テストの実施について慎重な検討を要する。 特に、問1, 5及び6の回答に注意する。 被測定者の状態により、それ以外のテスト項目の実施についても慎重な検討を要する。
2 4点以上	ほぼ全ての設問において回答②以上に回答する。 設問によっては回答①あるいは、回答③も含まれる。	○	特別な障害がない限り全てのテスト項目について実施可能 ただし、問1, 3, 4, 5, 6において回答①が含まれる場合、実施可能テスト項目について慎重な検討を要する。